



『教会はキリストの体、一人一人はその部分』 コリントの信徒への第一の手紙 12 章 27 節

日米合同教会は、特にニューヨーク市近郊に住む日本人並びに日本に関心を寄せる人々に、礼拝、交わり、学び、伝道・宣教の業を通してキリストの福音をのべ伝え、キリスト者として共に信仰を深めていくことを目的とする信仰共同体です。

◇ 牧師からのメッセージ ◇

「あなたがたは同じ群れの羊です」先日、合同メソジスト教会ニューヨーク地区の最高責任者(Bishop)である Jeremiah Park 牧師から日米合同教会(JAUC)に感謝のお手紙を頂きました。この経済不況の中、2008 年度の分担金を 100%お支払い下さり(18,000 ドル)、心から感謝申し上げますというものでした。なお、JAUC は分担金の責任を完全に全うするようになって 3 年目になります。◆分担金とは、合同メソジスト教団に属している各教会がそれぞれ協力して、教会の働きを一層効果的なものにするために考えられたメソジスト特有の方法です。各教会からの分担金は、教団のアドミニストレーションのためだけでなく、国内、国外の貧困問題の取り組み、災害に遭った人々や教会への援助、マイノリティーの学生への奨学金、合同メソジスト教会がジンバブエに創立したアフリカ大学を通じたアフリカ人牧師の教育・養成等に使われています。◆このコンテキストにおいて、私は主イエスの「わたしは良い羊飼い。あなたがたはその羊である」という言葉を思い出します。羊の群れとは、JAUC の会員だけを指すものではありません。キリストに従うすべてが羊の群れです。各教会の壁を越えて、同じ群れの羊に目を向けてこそ、羊の群れの一員である意味があるのです。その意味で、分担金をどれだけ大切に考えるかは、その教会の姿勢を測る物差しの一つと言えます。◆Bishop Park はその手紙を以下の言葉で結んでいます。「どうか、私の感謝の気持ちを教会員の皆様にお伝えください。それぞれの方々の貢献を思う時、この経済不況の中で主のために働く勇気、力、希望が湧いてきます。」JAUC の牧師として、私もまた Bishop Park と喜びを共にしたいと思います。2009 年度も分担金 100%へと努力してまいります。



◇ 教会礼拝説教 ◇

■4 月 5 日「イエスはロバに乗って来た」マルコ 11:1-11 過ぎ越しの祭はヘブライの民が自由な民となったことを祝う記念日で、首都エルサレムはその祭を祝う人々で一杯でした。また解放の記念日に救い主の到来を待ち受けていた人々は興奮の極に達し、熱狂的になっていました。そこに主イエスはきらびやかに装飾された四頭立ての馬車ではなく、ロバに乗って来られました。◆考えてみればそれは不思議な光景ですが、救い主イエスは君臨ではなく愛するために、打ち砕くのではなく助けるために、力ではなく愛の強さを示すためにこの世に来給うたのです。しかし熱狂

した群衆はこの主イエスの思いに無関心でした。「ホサナ！」とイエスの入城を歓迎します。そして 5 日後には「十字架につけよ！」と叫ぶことになるのです。◆もし私達はその場にいたらどうしていたでしょうか。やはり「ホサナ」と叫び、数日後には「十字架につけよ」と叫んでいたかもしれません。戦争が始まると「敵を愛しなさい」というイエスの言葉を忘却する時、「隣人を愛しなさい」というイエスの言葉を気の合う人だけに適用する時、この世の利益を第一に追い求めてしまう時、私たちは「イエスを十字架につけよ」と叫んでいるのです。主イエスを十字架につけた群衆は私たち自身なのです。◆しかし、主イエスはこのような私達をしっかりと抱きしめ、赦し、新しい命へと導いてくださいます。主イエスの慈しみに心からの感謝を捧げ、私たちの赤裸々な姿を凝視し、悔い改めることが必要なのです。



■4 月 19 日「人生はイエスと共に歩

む旅路」ルカ 24:13-35 イエス受難の翌日、エルサレムからエマオに向かう弟子二人に復活したイエスが現れます。しかし彼らはイエスと気づかず言います。メシアだと信じていた人が十字架につけられ死んでしまった、私達の期待は裏切られ絶望の極みにいる、と。食事の時イエスはパンを取って祝し、裂いて二人に渡します。すると、「そこで彼等の目は開かれ、イエスと分かった。」この話は三つのことを通し「人生とは何か」という問への答えを与えてくれます。◆第一に、食事を共にして弟子達はイエスだったと分かりました。イエスは食事を共にする事を大切にされましたが、その食卓においてはすべての人が平等で貴重な人格的存在でした。人との隔ての壁を切り崩していく時に私達は復活のイエスと出会うのです。◆第二に、復活のイエスは私達が認めようが認めまいが無条件に私達と共に歩んでいく下さるということです。苦しく悲しい時、物事がうまく運ばない時、イエスが共にいてくれるなどとは思う事ができない時でさえもイエスは私達の間におられ、私達から離れてしまうことはないのです。◆第三に、エマオへの道で起こったことは常に起こるといえる点です。イエスとの出会い故にマーティン・ルーサー・キング牧師やマザー・テレサ、内村鑑三、賀川豊彦の人生があったと言えます。今この礼拝堂であなたが礼拝していることも一つの証しです。人生とは復活したイエスと歩む旅路です。主イエスこそ人生の永遠なる同伴者です。

■5 月 3 日「わたしは良い羊飼い」ヨハネ 10:11-18 イエスは言われました。「わたしは良い羊飼い。」「良い羊飼いは羊のために命を捨てる。」夕方になり、百匹の羊を飼う羊飼いが野原から家に帰ろうと羊の数を数えますが一匹足りません。羊飼いは迷子

スモール・グループ

スモールグループは教会員の霊的成長のための教会プログラムです。少人数での親密な交わり(フェロウシップ)を通して、クリスチャンとして実生活でどう生きるかなどを考え、互いに支えあい、高めあうことを目的とします。自分のニーズにあったスモール・グループ 1 つに所属し、同じメンバーで共に学び、祈っていきます。(自由意志参加)

- | | | |
|----------------------|--------------|----------|
| SG 1. 女性信徒の学び会(バイブル) | 第 2、4 土 2 時 | 園田姉宅 |
| SG 2. 子供を持つ母親の学び会 | 第 2 火 11 時 | 時田姉宅 |
| SG 3. 男性信徒の学び会(バイブル) | 第 2、4 日 9 時半 | 教会(日下部兄) |
| SG 4. 日本語での学び会 | 第 2 日 2 時 | 教会(春日姉) |

教会ミニストリー報告

の羊を夜通し探しまわり、ついに見つけると肩に担いで群れに連れ戻しました。◆良い羊飼いいエスの特徴は二つの次元を同時に生きているということです。一つは垂直、つまりイエスと神との関係です。「父はわたしを知っており、わたしは父を知っている。」もう一つは水平の次元、つまりイエスと羊との関係です。イエスが良い羊飼いなれば私達は彼に飼われている羊の群れです。◆私達もまた良い羊飼いいによって垂直と水平の次元を生きるように、神を仰ぎ見ながら他者に対し慈しみの眼差しで接するように誘われ導かれているのです。◆しかし、これらは自然に自らのものになるというものではありません。常に深め、育て、強めようとする努力が必要です。植物が水を必要とするように垂直の次元は祈り、礼拝、学ぶことを必要としています。そして信仰共同体(教会)に深く連なり助けが必要な人々に手を差し伸べてこそ(水平の次元)、イエスの福音は人生の糧になるのです。◆イエスは良い羊飼いい、私達は羊の群れです。羊飼いの声に耳を傾けつつ同じ群れの羊たちと共に生きること、心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして主なる神を愛し、隣人を自分自身を愛するように愛することが許されているのです。

◇ ディスカバリー・キャンプ 2009 ◇



キリストの愛を土台として行われている小学生のための夏のキャンプ「ディスカバリー・キャンプ」は1977年に始まり、今年で25回目を迎えます。“日本語が苦手”という友達から“英語は初めて”の友達まで、バイリンガルの環境の下、美しい海と自然がたっぷりのキャンプ場で2週間を過ごします。楽しく、素晴らしい発見があることでしょう。一人ひとりが大切にされ、大切にされることを体験する中で、

共に生きる力が養われていきます。全2週間参加をお勧めしますが、前半1週間または後半1週間だけの参加も可能です。

場所: Camp Quinipet, UMC www.quinipet.org
Shelter Island Heights, NY 11965
日程: 7月26日(日)から8月7日(金)まで
対象: 2年生から7年生(9月からの学年)
費用: 975ドル(宿泊、食費、バス、保険込)兄弟割引あり
550ドル第1週(7/26-8/1)又は第2週のみ(8/1-7)
申込: 締切り6月30日(火)、詳細は www.jauc.org 参照
問合せ: 相良昌彦牧師(キャンプディレクター)
abbamasa@gmail.com、又は
日米合同教会 info@jauc.org、(212)242-9444

◇ 祈りのリクエスト ◇

今、苦悩の中にいる人、悲しみの中や孤独の中にいる人が私たちの隣人の中にいます。私たちクリスチャンはとりなしの祈りを主に捧げ、その人たちのために主の平安と癒しを求めて祈ります。

次に記された方々、そしてそれ以外にも心に浮かぶ方々を、毎日のお祈りに覚えてください。◆**健康のための祈り** 井上和子、ゴーマン美智子、坂本和子、松本二三子、村上清子、山田メアリー、劉世花の諸兄姉。(五十音順)◆この祈りのリクエストに加えてたい方がおられましたら事務所までご連絡ください。

◇ 主のもとへ(召天) ◇

■ネイサン・ブラウネル牧師の実父**トーマス・ブラウネル氏**が5月2日、67歳で天に召されました。ご遺族にはジョイス夫人とブラウネル牧師の他に、もうひとりのご子息アンソニー、そして4人のお孫さんがおられます。記念礼拝は7月18日(土)に行われる予定。ブラウネル牧師とご家族は皆さんのお祈りと支援に感謝しています。カードなど送りたい方の連絡先: Mrs Joyce Brownell, 1198 South Lake Street #203, Whitehall, MI 49461-1776 同氏の人生の歩みについては次のウェブサイトでご覧になれます。
<http://web.me.com/brownelln/ThomasBrownell/Welcome.html>



■5月26日、JAUCの長年の教会員であり、レイ・リーダーである**ラリー・カーン**兄が安らかに天に召されました。御年59歳でした。ご遺族には同じくJAUC教会員鈴木姉、ご子息ユージーンとローレンス、ご息女スザンがおられます。カーン兄は4年間、JAUCの理事長を務められ、当教会にトレス・ディアスや奉仕のリーダーシップをもたらされました。2004年には、専門医療を受けるため、鈴木夫人とバージニアに引っ越されました。同兄の人生は祈りを通しての主の癒しと恵みの証しそのものでした。彼は、その優しく喜びに満ちたスピリット、キリストと主の教会への献身、他者への慈しみの人として覚えられていくことでしょう。JAUCでの記念礼拝式の日程は決定次第お知らせします。

◇ お知らせ ◇

■**日本語の聖書の学び会** 7-8月には鈴木牧師による日曜午後の聖書の学び会はお休みします。

■**卒業生への祝福** 6月21日の聖日礼拝式で、今年高校、大学又は大学院を卒業された方々をご紹介、喜びを共にします。今年卒業された方、またそのご家族は是非、教会オフィスまでご連絡ください。お友達、ご家族を招いて祝いましょう。

■**教会図書** 5月には3冊の日本語図書を購入了。上山雄治『「主の祈り」の世界』、鞭木由行『安息日と礼拝—礼拝が礼拝であるために』、能登一郎『神様の絵の具』(以上いのちのことば社刊)です。是非ご利用下さい。また、カリフォルニアに転居された西田ポーリーン宣教師から40冊以上の英語書籍が寄贈されました。スモール・グループ指導のガイドなどさまざまな分野の本が含まれています。こちらもお覧下さい。

■**墓参会** 5月25日、サイプレス・ヒル墓地にてメモ



教会運営報告

リアル・サービスが行われました。鈴木牧師のメッセージの後、納骨堂の扉が開かれ、ホワイト光枝、向井大越ユーヅニア、神崎アルバートタツオ、奥田リチャード、松隈尚英リチャードの諸兄姉のご遺灰がそれぞれのご遺族の手によって納められました。この日は晴天に恵まれ、多くの方々が墓参会に出席されました。

■訂正 前月号にて本間立夫氏の著書名に誤りがありましたことお詫び申し上げます。正しくは「当たって砕けよ！」でした。

■教会アウトリーチ・ビジョン関連 ◆アウトリーチ・イベント 2001年以來行っている麻生瑛子姉の一人芝居「マグダラのマリア」が、JAUCでも公演されます。同姉の公演は、演劇という芸術的な観点からも、又クリスチャンの霊的啓発、伝道のメディアとしても、非常に高い評価を受けて来ています。劇は日本語ですが、英語スピーカーも理解できるものと思われます。入場は無料、この活動をサポートするための自由献金が会場で集められます。◆鈴木牧師の日曜説教 健康上の理由などにより礼拝に参加出来なかった会員のために、6月から毎週、前週の礼拝で述べられた鈴木牧師の説教文を20部ほど社交室に置く予定。これらの説教文は教会ウェブサイトにも掲載されます。■アドミニストレーション関連 ◆子供たちの安全確保 どのようにすれば子供たちが事故の心配なく教会内で過ごせるかを話し合うために、日曜学校教師・ご両親の会合を持つ必要があります。事故防止のため、現在4階のアパートメントは日曜午後には鍵をかけて閉めるようにしております。子供たちは、大人の目が行き届く社交室または3階で遊ぶことが出来ます。◆記念礼拝のための献花 教会員が亡くなられた場合、記念礼拝に花束を贈ることが決められました。

◆昼食サービスの変更 7-8月には教会では昼食が用意されません。◆牧師招聘委員会関連 新たなメンバーとして園田雅代姉が招聘委員会に加わります。

■リーダーシップ促進関連 ◆英語スピーカーの集まり 7-8月から毎月1回英語スピーカーの集まりが行われる予定。

役員会

■教会アウトリーチ・ビジョン関連 ◆一人芝居「マグダラのマリア」 役員会は6月18日に行われる麻生瑛子姉による一人芝居「マグダラのマリア」を教会イベントとして承認。◆古屋先生の来訪と映画上映 役員会は、古屋安雄牧師がJAUCに来られる8月30日の午後1時より、賀川豊彦の人生を描いた映画『死線を越えて』の上映を教会イベントとして承認。当日は婦人会がリフレッシュメントを用意します。◆宣教支援 宣教支援についての規定及び2009年度支援金について6月中に話し合う予定。

■アドミニストレーション関連 ◆建物管理 7月中および8月1-8日に、米国改革派教会(RCA)から2つのボランティア・チームが来訪。建物管理委員会が調整を行い、それぞれチームは屋根修理や牧師館修理などを行う予定。JAUCは同チームとの歓迎食事会や交わりなどでもてなし、宿泊中の食料買出しなどを手伝います。各チームが費用自己負担で奉仕していただきます。

■リーダーシップ促進関連 ◆JAUC 修養会「愛修会」のためのプランニング・チームを以下のように構成しました。まだ、調整役(コーディネーター)などを募集しています。宿泊と費用: 吉田、野口、バーマン、プログラム: 野口、今戸、ダウング、鈴木牧師。尚、参加希望者は締め切り6月30日までに申し込んでください。

◆アルファ・コース 日程変更し、今回は7月22日まで延長して行います。6月6日に予定していた「聖霊」の回は中止。

復活祭献金

2009年復活祭礼拝式での皆様の献金(合計 5,686.83ドル)に心から感謝いたします。

Baumann, Kumiko
Bolster, Katsuko
Bumedet, George
Clarke, Junko
Fotinakis, Tony
Fujimoto, Haruyoshi & Sumio
Fukuhara, William & Hiroko
Goldberg, June
Gorman, Michiko
Hagihara, Takayuki & Asae
Hara, Tomie
Haruyama, Albert
Hashimoto, Rentaro
Hata, Judith
Hata, Sakae
Horiuchi, Martha
Hosaka, Tazuko
Imado, Chizuko
Iyoda, Hideko
Jones, Kathleen
Kamihara, Yasuo & Emy
Kanzaki, Yoneko
Kariya, Jean
Kasuga, Yoshiko
Kern, Larry & Suzuko
Kubo, Sue
Kumada, Noriko
Kurosaki, Mikiko
Kusakabe, Dean & Kaori
Kuwada, Harry
Liu, Shih Hua
Miya, Monica
Mori, Kumiko
Motoi, Keijiro
Mukai, George & Lillian
Nakamaru, Mariko
Narita, Yoshio
Nishiwaki, Tomoyo
Noguchi Hasegawa, Junko
Ohno, Iku
Ohori, Makoto
Onuma, Takako
Quintana, Wilbert & Haruho
Sakamoto, Kazuko
Sato, Maiko
Shimomura, Joshua & Toshiko
Silberg, Wilhelmina
Sonoda, Masayo
Sun, Hua Tzu
Suzuki, Kaoru
Suzuki, Moto
Suzuki, Yugo & Elizabeth
Takami, Benson
Takami, Winston & Natsuko
Taki, Kyoko
Tasaka, Sachiko
Togashi, Motomi
Tokita, Miyako
Tonegawa, Jun & Fujiko
Tora, Rie
Uchiyama, Ayako
Utsumi, Hisae
Watanabe, Kaori
Weir, Michael & Kaori
Yamada, Mary
Yamamoto, Miharuru
Yoshida, Peter & Gerri
Yoshida, Sayoko
Yoshinaga, John & Lucienne

■訂正 前月号献金リスト中のお名前に誤りがありましたことお詫び申し上げます。Nicholas M Iyodaではなく、正しくは Nicholas M Iyoya でした。

